

平戸

令和5年11月30日
横浜市立平戸小学校

〒244-0803

横浜市戸塚区平戸町542番地

TEL 045-821-2329

FAX 045-826-2005



学校HPが
更新されています。
ぜひご覧ください。
(閲覧数11/29現在
78051)



安心できる平和な空間をめざして

校長 若色 昌孝

11月21日の朝会で、児童支援専任から全校児童に対して、「嫌だという思いを暴力で表してはいけない」「嫌なことをされても暴力で返してはいけない」という話をしました。スライドも用いて丁寧に話しました。また、「暴力はいけない」ということだけではなく、「そういう気持ちになったら、こうするといい」という対応の仕方の例も伝えました。



各クラスでの担任の話

朝会の後、廊下を歩いていると、朝会の話を受けて各教室で、担任が子どもの実態に応じて話をしていました。低学年の教室で「暴力はいけないよね。でも、先に嫌なことをされたらやり返したいという気持ちも分かるよ…」と、子どもの気持ちに寄り添った話もされていました。すると、子どもから、「やられたからやり返す…をしていたら、戦争と同じになっちゃう。それじゃ、今の〇〇と△△と同じだよ。平和にならない。」という発言も出てきました。

私は、その子と話がしたくなり、担任を通して校長室にその子を招きました。「あなたの話を聞いていて、なるほどそうだな…と思ったよ。どうして、そう考えられたのかなあ。」と聞くと、「ぼくね、家で、ニュースを見ながら、よく話をするんだ。家の人とちゃんと戦争の話をするから…かな。」と答えました。時事問題、特に戦争をどう子どもに伝えるかは、学校でもとても難しいです。また、ご家庭での考え方はそれぞれですし、育ちのタイミング等もあるかと思いますが、今の世界情勢は、胸の痛くなる映像とともに報道されることもありますから、なおさらです。ただ、今回、この子と話していて、子どもたちは、暴力についても、戦争についても、そして平和についてもしっかりと考える力をもっているんだ…、学校が、大人が何を子どもに語り、どう伝えるかが大切なんだ…と改めて思いました。

2023年もあとひと月。日々の学校が、子どもたちにとって安心できる平和な空間になるような取組を進めます。子どもによっては、学校が、安心できない…平和ではない…そんな場面があるからこそ、なお強く、一つひとつの取組の大切さを思います。